

様式1号
(総括票)

事業活動温暖化対策計画書 兼 実施状況等報告書

1 事業者等の概要

氏名又は名称	森永乳業株式会社							
代表者名	氏名	宮原 道夫	役職名	社長				
主たる事務所の所在地	東京都港区芝5-33-1							
主たる事業の分類	大分類	E 製造業						
	中分類	09 食料品製造業						
主たる事業の概要	乳製品の製造							
制度に該当する要件	<input checked="" type="checkbox"/>	条例第12条第1項第1号及び条例施行規則第4条第2項第1号に該当する事業者						
	<input type="checkbox"/>	条例第12条第1項第1号及び条例施行規則第4条第2項第2号に該当する事業者						
	<input type="checkbox"/>	条例第12条第1項第2号に該当する事業者						
	<input type="checkbox"/>	上記以外（任意提出）の事業者						
原油換算エネルギー使用量	1881	kl	その他ガス排出量合計	0	t-CO ₂	自動車の台数	1	台

2 計画期間及び報告対象年度

計画期間	26	年度	～	28	年度	報告対象年度	28	年度
------	----	----	---	----	----	--------	----	----

3 計画書（報告書）の公表方法等

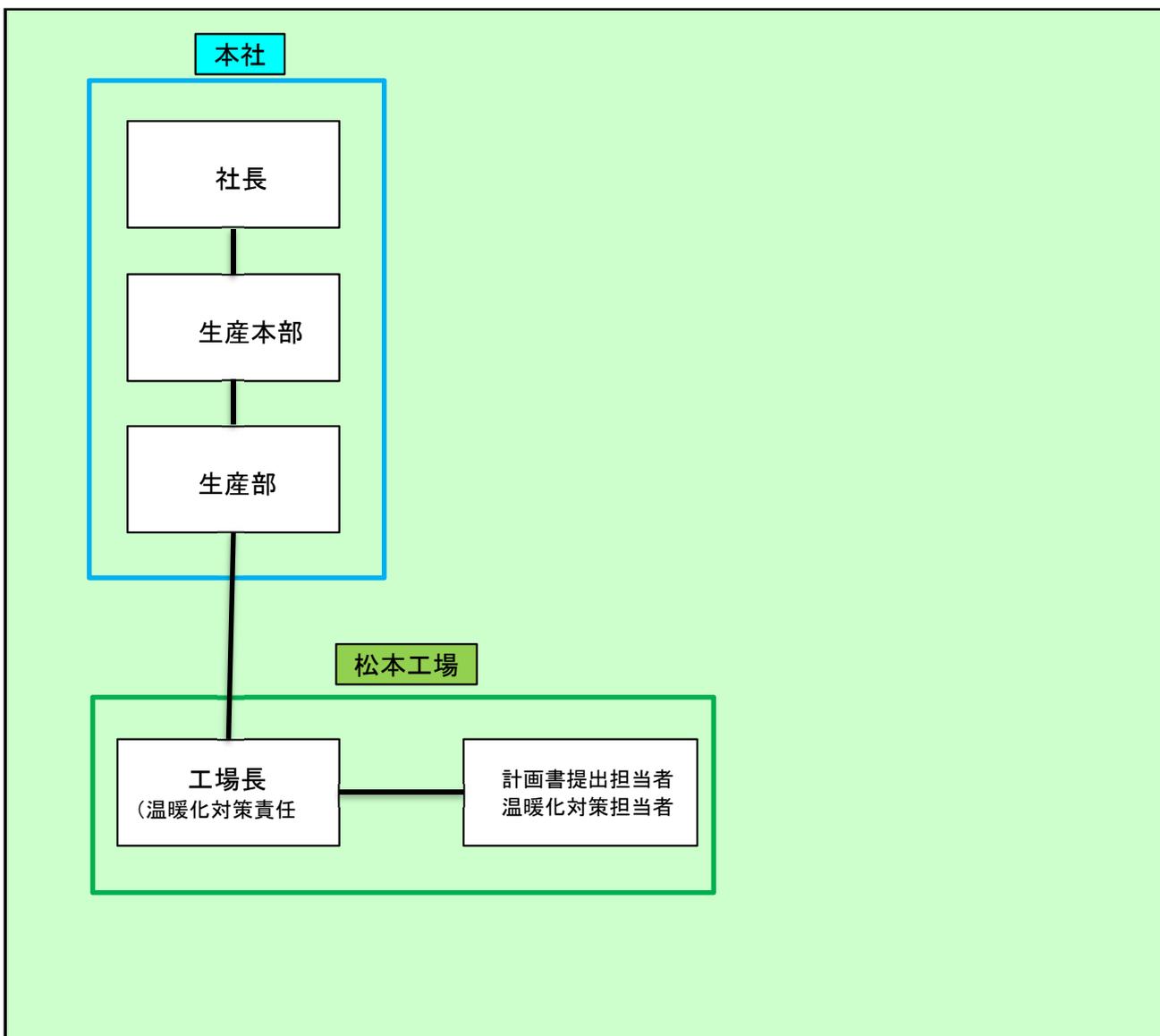
<input type="checkbox"/>	ホームページ	
<input checked="" type="checkbox"/>	印刷物の閲覧	工場受付にて閲覧可能 8:30～16:45 担当部署 松本工場 製造課 工務職場 連絡先 0263-26-0330
<input type="checkbox"/>	その他	

様式1号
(総括票)

4 温室効果ガス排出抑制のための基本方針

エネルギーの使用の合理化を適切かつ有効に実施し温室効果ガスの削減に努めます。

5 温室効果ガス排出抑制のための組織体制



様式1号
(総括票)

6の1 エネルギー起源二酸化炭素の排出抑制に係る目標等の状況

基準年度	基準排出量	3,804	t-CO ₂	生産数量 (t)	673	単位	t	
25年度	調整後排出量	3,354	t-CO ₂	基準原単位	5.65	t-CO ₂ /	t	
目標年度	目標排出量	3,689	t-CO ₂	目標原単位	5.48	t-CO ₂ /	t	寄与度の合計から求めた目標削減率 [※]
28年度	目標削減率	3.02	%	目標削減率	3.00	%		
目標設定に関する説明	ISO14001の環境目標がCO ₂ 排出量 年1%削減であるため、3年で3%削減を目標といたしました。							※事業の内容により単一の原単位を設定できない者のみ記載する(以下同じ)。
第一年度	排出量	3,845	t-CO ₂	生産数量 (t)	687	単位	t	
	調整後排出量	3,833	t-CO ₂	原単位	5.60	t-CO ₂ /	t	寄与度の合計から求めた目標削減率 [※]
26年度	削減率	(1.08)	%	削減率	0.88	%		
排出量等の増減理由	排出量は製造量が増加したため増加しましたが、原単位は削減できました。							
第二年度	排出量	3,648	t-CO ₂	生産数量 (t)	622	単位	t	
	調整後排出量	3,640	t-CO ₂	原単位	5.86	t-CO ₂ /	t	寄与度の合計から求めた目標削減率 [※]
27年度	削減率	4.10	%	削減率	(3.72)	%		
排出量等の増減理由	排出量は減少しましたが、排出量以上に生産量が減少しているため生産量に関係なく排出される固定部分の比率が大きくなり原単位を削減できませんでした。							
第三年度	排出量	3,736	t-CO ₂	生産数量 (t)	717	単位	t	
	調整後排出量	3,725	t-CO ₂	原単位	5.21	t-CO ₂ /	t	寄与度の合計から求めた目標削減率 [※]
28年度	削減率	1.78	%	削減率	7.78	%		
目標の達成状況及び排出量の増減理由	今年度は生産数量が大幅増加したため固定部分の比率が小さくなり原単位が改善できました。目標の達成状況といたしましては、目標5.48t-CO ₂ /t に対し5.25t-CO ₂ /tと目標達成できました。							

様式1号
(総括票)

6の2 エネルギー起源二酸化炭素以外の温室効果ガスの排出抑制に係る目標等の状況

基準年度	基準排出量	0	t-CO ₂			単位		
25年度	調整後排出量		t-CO ₂	基準原単位		t-CO ₂ /		
目標年度	目標排出量		t-CO ₂	目標原単位		t-CO ₂ /		寄与度の合計から求めた目標削減率 [※]
年度	目標削減率		%	目標削減率		%		
目標設定に関する説明								※事業の内容により単一の原単位を設定できない者のみ記載する(以下同じ)。
第一年度	排出量		t-CO ₂			単位		
	調整後排出量		t-CO ₂	原単位		t-CO ₂ /		寄与度の合計から求めた目標削減率 [※]
年度	削減率		%	削減率		%		
排出量等の増減理由								
第二年度	排出量		t-CO ₂			単位		
	調整後排出量		t-CO ₂	原単位		t-CO ₂ /		寄与度の合計から求めた目標削減率 [※]
年度	削減率		%	削減率		%		
排出量等の増減理由								
第三年度	排出量		t-CO ₂			単位		
	調整後排出量		t-CO ₂	原単位		t-CO ₂ /		寄与度の合計から求めた目標削減率 [※]
年度	削減率		%	削減率		%		
目標の達成状況及び排出量の増減理由								

様式1号
(総括票)

6の3 自動車の使用に伴う二酸化炭素の排出抑制に係る目標等の状況

基準年度	基準排出量	0.6	t-CO ₂			
25年度						
目標年度	目標排出量		t-CO ₂	削減率		%
28年度						
目標設定に関する説明						
第一年度	排出量	0.23	t-CO ₂	削減率	61.66	%
26年度						
排出量等の増減理由	備品購入のために社用車を利用することが減ったため。					
第二年度	排出量	0.46	t-CO ₂	削減率	23.33	%
27年度						
排出量等の増減理由	基準年度よりは削減できましたが、備品購入のために社用車を利用することが増えたため昨年度よりは増加しました。					
第三年度	排出量	0.61	t-CO ₂	削減率	-1.67	%
28年度						
目標の達成状況及び排出量の増減理由	基準年度と比べ微増となりました。社用車での日帰り出張が増えたため昨年度よりは増加しました。					

7 重点対策の実施状況

段階	連番	対策名称	基準年度	実施予定	第一年度	第二年度	第三年度	備考
I、II	1	燃料使用量等の定期的な把握						
	2	エコドライブの励行						
III、IV	—	次世代自動車の導入						

様式1号
(総括票)

8 排出抑制目標達成のための具体的な措置

番号	区分	対策内容	計画		実績	
			実施 予定年 度	削減見込量 (t-CO ₂)	実施年度	推計削減量 (t-CO ₂)
1	エネ起	310200 配管等系統図の整備	26	50	26	0
2	エネ起	320208 不要時の蒸気供給バルブの閉止	26	50	26	3
3	エネ起	320302 スチームトラップの清掃及び整備の実施	26	30	26	2
4	エネ起	330299 吹出口変更による空調の効率化	26	40	26	2
5	エネ起	380752 LEDランプへの更新	26	40	26	17
6	エネ起	329999 高効率ボイラーへの更新	27	80	26	0
7	エネ起	360751 小容量のコンプレッサーの導入	28	20		
8	エネ起	360799 無製造時のコンプレッサー停止	28	60	26	28.5
9	エネ起	360701 汚泥返送ポンプの更新			26	29.6
10	エネ起	329999 高効率ボイラーへの更新			28	81.1

9 自然エネルギー源利用設備等の導入状況

機器の種類	単位	基準年度	導入計画	第一年度	第二年度	第三年度

10 クレジット等に関する取組状況

クレジットの種類	単位	基準年度	計画期間	第一年度	第二年度	第三年度
グリーンエネルギー証書 (電気)	tCO ₂					
グリーンエネルギー証書 (熱)	tCO ₂					
J-クレジット制度により 創出されたクレジット	tCO ₂					
県が認証したクレジット	tCO ₂					
電気の利用に伴うもの	tCO ₂	405		12	8	11
低炭素電力の利用	tCO ₂					

様式1号
(総括票)

1.1 県内の工場等におけるエネルギー起源二酸化炭素の排出状況 (所、t-CO₂)

工場等の規模 (原油換算エネルギー使用量)	基準年度		第一年度		第二年度		第三年度	
	工場等数	排出量	工場等数	排出量	工場等数	排出量	工場等数	排出量
3,000k1以上								
1,500k1以上 3,000k1未満	1	3,804	1	3,845	1	3,648	1	3,736
1,500k1未満								
合計	1	3,804	1	3,845	1	3,648	1	3,736

1.2 県内の工場等におけるエネルギー起源二酸化炭素以外の温室効果ガスの排出状況 (t-CO₂)

ガスの種類	基準年度	第一年度	第二年度	第三年度
非エネルギー起源 CO ₂	0	0	0	0
CH ₄	0	0	0	0
N ₂ O	0	0	0	0
HFC	0	0	0	0
PFC	0	0	0	0
SF ₆	0	0	0	0
合計	0	0	0	0

1.3 次世代車使用台数及び導入計画 (台)

自動車種別	基準年度	第一年度	第二年度	第三年度
プラグイン・ハイブリッド自動車	0	0	0	0
電気自動車	0	0	0	0
燃料電池自動車	0	0	0	0
クリーンディーゼル自動車	0	0	0	0
その他	0	0	0	0
合計	0	0	0	0
自動車総数	1	1	1	1
次世代車導入割合				0

様式1号
(総括票)

14 中小企業支援

区分	内容
中小企業への省エネ診断	なし
その他	なし

15 交通対策

区分	実施内容
ノーマイカー通勤	徒歩、自転車通勤にも手当を支給 松本市ノーマイカーデー運動参加 マイカー通勤率 45.5%
公共交通機関の利用促進	出張は近くの駅まで社有自転車又は徒歩で移動し電車を使用している。
来客者の交通対策	社内ポータルサイトにて電車での交通手段を掲載。県外業者には極力電車での来場を依頼。
物流の合理化	なし

16 環境マネジメントシステム導入状況

番号	名称	導入年
1	ISO14001取得	1999年
2		
3		

17 その他の地球温暖化を防止する対策の実施状況

基準年度実績	ライトダウンキャンペーン参加 (年2回看板ライトダウン実施) 敷地内の緑地、樹木の整備 牛乳パック、包装資材のリサイクル活動
第一年度実績	ライトダウンキャンペーン参加 (年2回看板ライトダウン実施) 穴田川清掃ボランティア参加、松本市ごみゼロ運動参加 敷地内の緑地、樹木の整備、牛乳パック、包装資材のリサイクル活動
第二年度実績	ライトダウンキャンペーン参加 (年2回看板ライトダウン実施) 穴田川清掃ボランティア参加、松本市ごみゼロ運動参加 敷地内の緑地、樹木の整備、牛乳パック、包装資材のリサイクル活動
第三年度実績	ライトダウンキャンペーン参加 (年2回看板ライトダウン実施) 穴田川清掃ボランティア参加、松本市ごみゼロ運動参加 敷地内の緑地、樹木の整備、牛乳パック・包装資材のリサイクル活動

18 自由記載欄

区分	内容	削減量(tCO ₂)
基準年度以前の取組み	平成22年度 インバーター制御コンプレッサーへ更新 平成24年度 冷蔵庫照明のLED化	50
その他		